

TVスタンド
取扱い及び組立説明書

PDR-UG1000BK/PDR-UG1150BK

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
本製品を組み立てる前に、必ず別紙「安全上のご注意」と下記内容をご覧いただき、正しく組み立て・ご使用されますようお願い致します。

組み立て前にお読み下さい

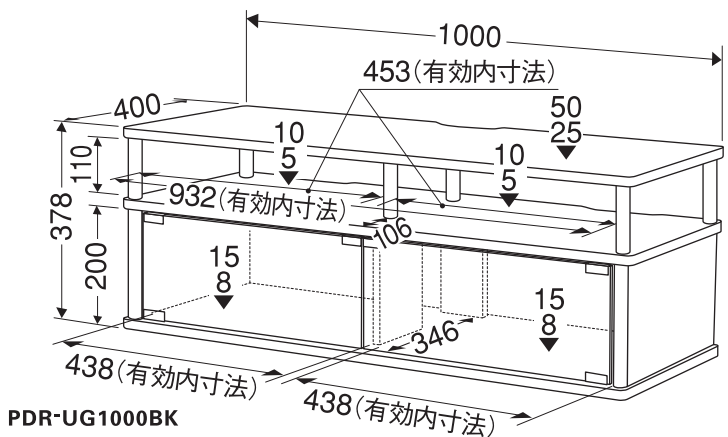
- 軍手などで手を保護してから組み立ててください。
- 組み立ての際は、付属工具をお使いください。
- 組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- 組み立て手順に従い、各部品をしっかりと固定してください。締め付け・かみ合わせが緩いと危険です。
- 組み立て時は床などを傷付けないよう、十分にごご注意ください。
- 定期的にボルトやキャスターの締め直しを行ってください。緩んだまま使用されますと、転倒・崩壊の可能性があります、非常に危険です。

ガラス製品に対してのご注意

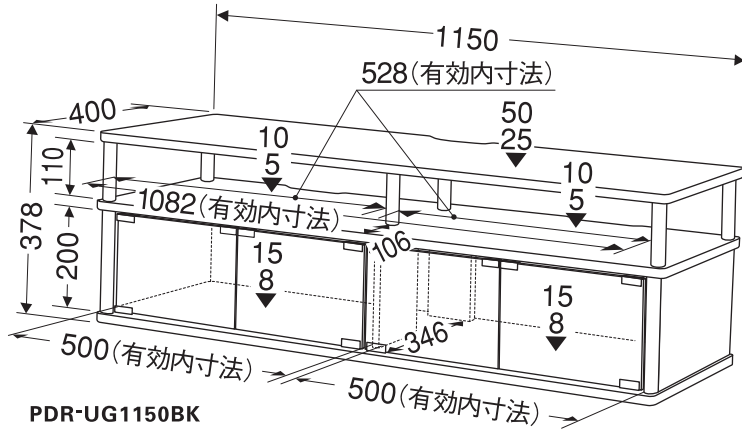
ガラスには強化処理及び飛散防止フィルムの貼付を施していますが、お取扱いには十分ご注意ください。

ガラスの傷や欠けによって、ガラスが破損しやすくなったり、突然破損することがあります。また、破損の際に、ガラスの破片が飛び散りケガの原因となりますので、お取扱いに十分ご注意ください、以下に従ってご使用ください。

- ガラスに傷や欠けが確認できた時は、ご使用を中止してください。
- ガラスに物をぶつけたり、鋭利な物で突いたり、傷つけたり、強い衝撃を与えないでください。
- ガラス扉の場合、ガラス扉が開いている状態で移動したり、ガラス扉を持って移動しないでください。
- 万が一、ガラスが破損した場合は、ガラスの破片を素手で触らないでください。



PDR-UG1000BK



PDR-UG1150BK

■**総耐荷重**
製品に載せる機器等重量の合計が数値を超えないようにしてください

■**平均分布耐荷重** (図面中の上の数値)
天板・棚板全体に分布するように機器を配置するときの参考にしてください

■**中心付近耐荷重** (図面の下の数値)
載せる物の重量がこの数値以下なら、どこに設置してもまず問題はありません

耐荷重
(▼Kg)
総耐荷重:80kg

マーク一覧

注

このマークのある組み立ては、特に気を付けて行ってください。



付属工具を使つての組み立てがあります。



ドライバーを使つての組み立てがあります。



2人以上で作業を行つて下さい。



右用と左用とで部材の形状が異なります。組み立て間違いないようご注意ください。

製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

商品に関するお問い合わせは

●エレコム総合インフォメーションセンター
TEL.0570-084-465 FAX.0570-050-012

受付時間
9:00～19:00

年中無休

部品一覧

※組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認ください。

① 天板 1枚
側面に傷防止シートを貼り付けてあります

② 底板
側面に傷防止シートを貼り付けてあります

③ 棚板 1枚
側面に傷防止シートを貼り付けてあります

④ 側板(右) 1枚
外側・光沢面に傷防止シートを貼り付けてあります

⑤ 側板(左) 1枚
外側・光沢面に傷防止シートを貼り付けてあります

⑥ バックパネル 1枚

⑦ パイプ 6本

⑧ ストッパー
底板②に取り付けてあります

⑨ 隠しキャスター
底板②に取り付けてあります

⑩ ガラス扉
裏面に飛散防止フィルムが貼ってあります

⑪ マグネットキャッチ
棚板③に取り付けてあります

⑫ ヒンジ(A)
PDR-UG1000 2個
PDR-UG1150 4個

⑬ ヒンジ(B)
PDR-UG1000 2個
PDR-UG1150 4個

⑭ マグネット受け
PDR-UG1000 2個
PDR-UG1150 4個

⑮ クッション
PDR-UG1000 2個
PDR-UG1150 4個

⑯ 仕切り板 1枚

① 天板 1枚
PDR-UG1000 1枚

② 底板
PDR-UG1150 1枚

③ 棚板 1枚

④ 側板(右) 1枚

⑤ 側板(左) 1枚

⑥ バックパネル 1枚

⑦ パイプ 6本

⑧ ストッパー
PDR-UG1000 2個
PDR-UG1150 3個

⑨ 隠しキャスター
PDR-UG1000 5個
PDR-UG1150 6個

⑩ ガラス扉
PDR-UG1000 2枚
PDR-UG1150 4枚

⑪ マグネットキャッチ
PDR-UG1000 1個
PDR-UG1150 2個

⑫ ヒンジ(A)
PDR-UG1000 2個
PDR-UG1150 4個

⑬ ヒンジ(B)
PDR-UG1000 2個
PDR-UG1150 4個

⑭ マグネット受け
PDR-UG1000 2個
PDR-UG1150 4個

⑮ クッション
PDR-UG1000 2個
PDR-UG1150 4個

⑯ 仕切り板 1枚

ボルト
① 6本
パイプ⑦に取り付けてあります

ボルト(M8×35)
② 6本
パイプ⑦に取り付けてあります

ボルト(M6×30)
③ 9本
(内1本は予備です)

穴隠しキャップ
④ PDR-UG1000 3個
PDR-UG1150 4個
(内1本は予備です)

六角レンチ(小)
付属工具 1本
+ドライバー付

六角レンチ(大)
付属工具 1本

組立説明

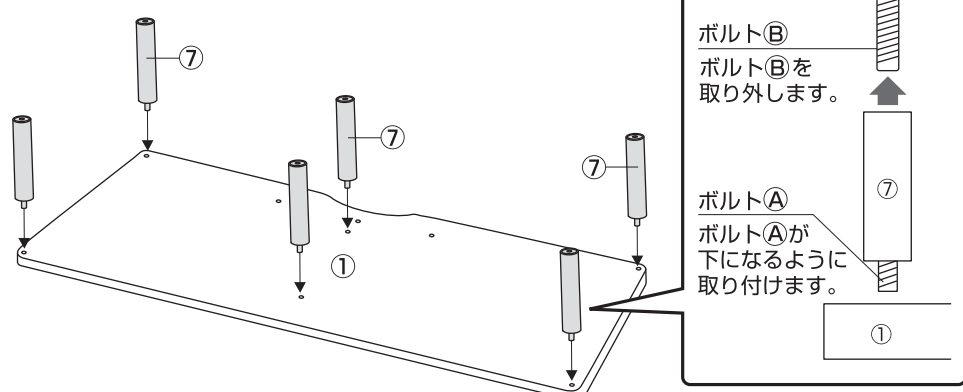
※本製品はロックダウン式家具です。必ず組み立て手順、組み立て上の注意事項等の指示に従って組み立てを行ってください。
※床やラック本体を傷付けないよう、段ボールや防傷シートを敷くなどして組み立ててください。

使用する工具&ご用意いただくもの



本製品には、製品の光沢面を保護するため、傷防止シートを貼っている部品があります。シート自体に加工や輸送でついた傷がある場合がありますが、製品への影響はございません。

- 1** I. パイプ⑦に取り付けてあるボルト⑧を取り外します。(別図1参照)
II. 天板①を裏返しに置き、パイプ⑦を手で強く締め付けます。



別図1

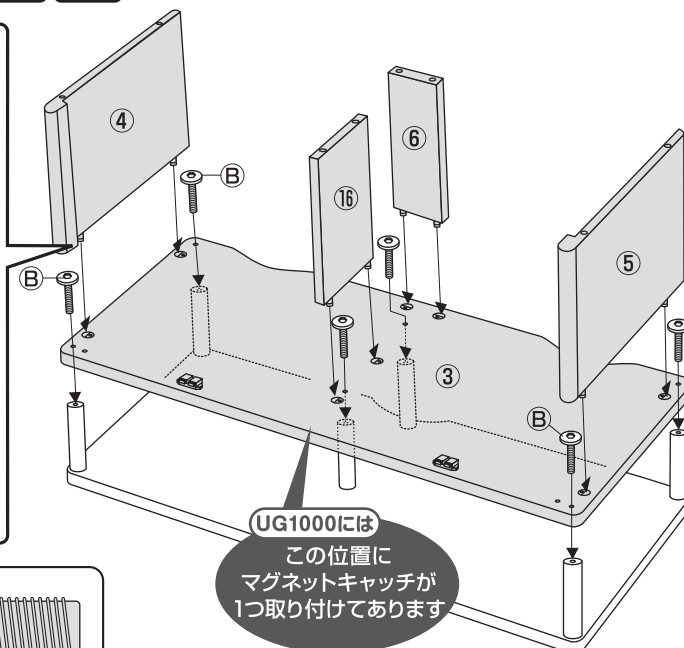
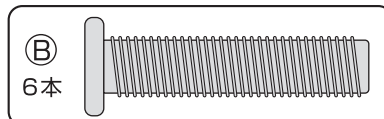
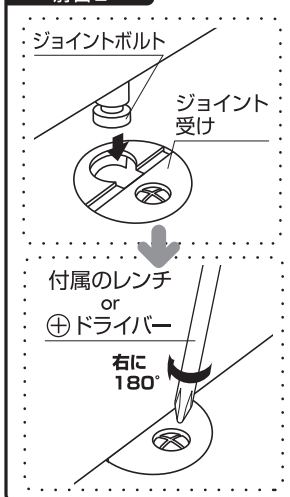
ボルト⑧
ボルト⑧を
取り外します。

ボルト⑧
ボルト⑧が
下になるよう
に取り付けます。

- 2** I. 棚板③を図のように、工程①で取り外したボルト⑧で、付属の六角レンチ(大)を使って締め付けます。
II. 側板④、⑤、仕切り板⑬、バックパネル⑥のジョイントを、ジョイント受けに差し込みます。
III. 付属のレンチ(小)、もしくは④ドライバーで各2ヶ所のジョイント受けの、④ネジを右に180°締め付けます。(別図2参照)

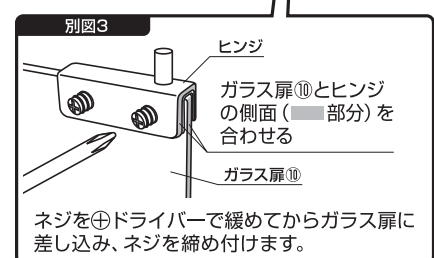
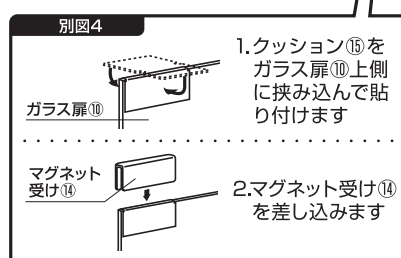
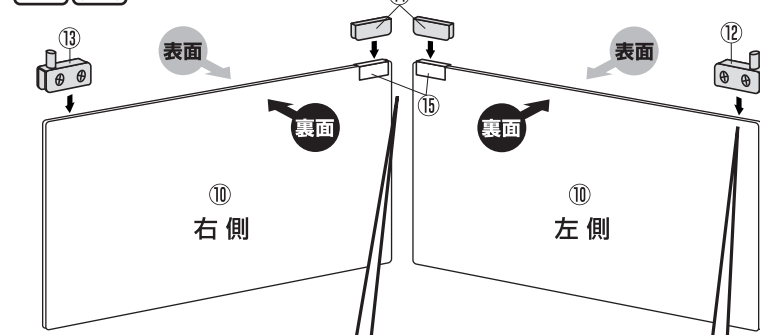


別図2



- 4** 注 表面に「TEMPERED GLASS」シールが貼ってあります。
注 ドライバーを使いヒンジのネジでガラス扉とヒンジを固定する時、ネジを必要以上に強く締めないでください。必要以上に強く締めると、ガラスが割れ、ケガの原因となる恐れがあります。

- I. ガラス⑩の表裏に注意して、上側にヒンジ(A)⑫、ヒンジ(B)⑬を④ドライバーで締め付けます。(別図3参照)
II. 次に、クッション⑮を挟み込み、マグネット受け⑭を取り付けます。(別図4参照)

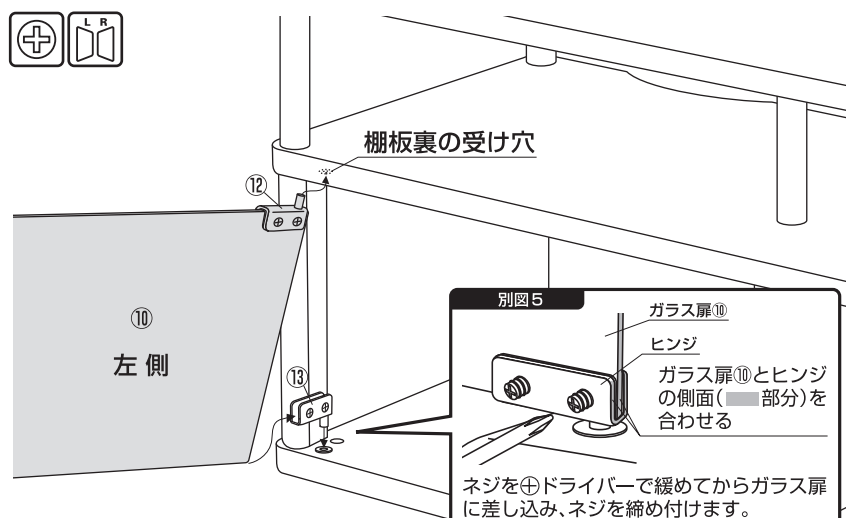


- 5** 注 以下の順番通りに組み立ててください。(もしも順番が異なると無理な取り付けとなり、ガラスが割れケガの原因となる恐れがあります。)

注 ガラス取り付け時には、床にダンボール等を必ず敷いて組み立ててください。ガラスが床に落ちた場合、ガラスが割れる恐れがあります。

注 ドライバーを使いヒンジのネジでガラス扉とヒンジを固定する時、ネジを必要以上に強く締めないでください。必要以上に強く締めると、ガラスが割れ、ケガの原因となる恐れがあります。

- I. 左側のガラス扉はまず、ヒンジ(B)⑬を底板の軸受けの穴に差し込みます。
II. 図のように、ガラスの表裏に注意して、上側のヒンジ(A)⑫を棚板裏の受け穴に斜めに差し込み、ガラス扉の下側をヒンジ(B)⑬の溝に差し込み、④ドライバーで締め付けます。(別図5参照)
III. 右側のガラス扉は、ヒンジ(A)⑫を底板の軸受けの穴に差し込み、同様に取り付けます。
IV. 最後に、傷防止シートを全て剥がしてご使用ください。



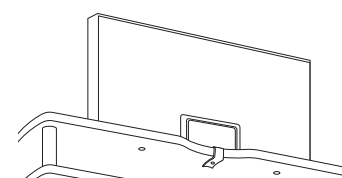
ガラス扉の調節方法

ガラス扉のズレが発生した場合、上下ヒンジのいずれかのネジを④ドライバーで一ヶ所ずつ緩め、ガラス扉をズレがないよう調節し、再度④ドライバーで締め付けます。

注 上下のヒンジのネジを同時に緩めると、ガラスが床に落ちガラスの割れ、ケガの原因となる恐れがあります。

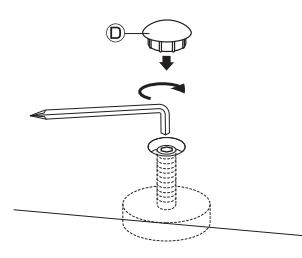
天板裏にある穴について

テレビによっては転倒防止バンド・ベルトを付属している場合があります。本製品には転倒防止バンド・ベルトを固定するための穴が天板裏面3箇所あります。お好みに応じて、テレビの説明書を参考にしてください。



※転倒防止バンド・ベルトによっては使用できない場合があります。
※テレビによっては使用できない場合があります。
※後方には倒れます。ケガなどの原因となりますので、固定後は本製品を壁などに近づけて設置し、小さなお子様が入れないようにしてください。
※本機能は揺れによるテレビの転倒を最小限に食い止めるのが目的であり、万一お客様やテレビ・家具等に損害が生じた場合、販売元及び輸入元また製造元とも、その補償をお約束するものではありません。

ストッパーの使用法



UG1150は底板の左右・中央3ヶ所に
UG1000は底板の左右2ヶ所に
ストッパーの六角穴があります。

六角レンチ(小)を使用して、右に回すとストッパーが下がり、前部キャスターを床から浮かせてTVスタンドを安定させることができます。
(天板にTV等を載せたまま作業や移動を行わないでください。転倒の危険があります。)
穴は穴隠しキャップDで塞ぐことができます。